

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

事業所名： 夢門塾 総社 記入者： 岡崎・小川・多田・伊藤・射場

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	2	2	1	建物は広いが、運動室が狭い。
	②	職員の配置は適切である	2	3		
	③	衛生面の管理が行き届いている	5			営業日は必ず消毒・清掃を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	1	毎朝職員でミーティングをしているが、目標に対して振り返りが足りない部分がある。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5			実施している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	3	2		実施しているが、公開していること自体の周知が足りなかった。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4	1		総社市社協の勉強会などに積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4	1		
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5			毎月の企画に対して、誰でも対応できるように周知している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	1		毎月の企画の担当者を変えながら、新しい活動を増やすようにしている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	1		
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5			子どもの特性に合わせて、集団活動にしたり、小グループにしたりと、配慮をしている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎朝職員でミーティングをしているので、全員がお互いの行動を把握出来ている。その為、フォローにも入りやすい。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	2	1	日々の記録を取るのみで、後から読み返して改善に役立てる事が出来ていない。 (ケース会議などの時には振り返りしているが全員ではない)
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	2		

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	1	学校との直接的なやり取りではなく、保護者に確認してもらい、変更があれば連絡を頂くようにしている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	1	4		児童発達支援事業所等と情報共有までは出来ているが、相互理解まで行っているかは明確ではない。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	2	1	対象となる児童がいない為行っていない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	3	研修の機会はほとんどないが、連携は取れている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5			コドモン(電子連絡帳)で療育的な視点でお伝えする事を心掛けている。つまりいた事等は送迎職員に伝え、どのように対応したか保護者の方に伝わるように努めている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4	1		契約時に実施している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3	2		
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		1	4	開催出来ていない。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		少しでも何かあれば、職員間で必ず即時に情報共有し、対応するように心掛けている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5			夢だより・ブログなどで常に発信している。
	㉗	個人情報に十分注意している	5			個人情報を取り扱う書類は施錠可能な戸棚に収納している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている			5	参加出来ていない。
非常時などの対応	㉚	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	1		マニュアルは存在しているが、全職員まで周知出来ていなかった。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5			
	㉜	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止の研修に参加している。
	㉝	いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4		1	対象となる児童がいない為行っていない。
	㉞	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5			必ずすべての書類を整え、個人ファイルにて管理している。
	㉟	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	2	3		ヒヤリハットの事例把握までは共有しているが、もう少し記入を増やしていきたい。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

- ・今回自己評価を実施する事で改めて色々な事を再認識できたので、とてもいい時間だった。
- ・一年間の振り返りをする事で、職員同士のスキルが上がった事や、努力したい事も明確になった。
- ・保護者様に励ましやお褒めの言葉、今後の課題に対する貴重なご意見など多岐にわたる返答を頂けたことに、まずは感謝したい。その上で、今後の課題に対する貴重なご意見に対して真摯に受け止め、日々の療育に生かしていきたい。